

【テーマ4】 最新の経済情勢等を踏まえた部内横断的課題に対する一体的な取組み

めざす方向

◎国内市場の縮小や、中国・インドなど巨大市場を抱えるアジア諸国の経済成長、社会生活全域への AI、IoT の急速な浸透など、最新の経済情勢等を踏まえ、大阪産業・経済のグローバル化に向け、中長期的な視点から部内横断的に取り組むべき課題などに対し、部内の各所属がそれぞれの施策を融合、連携することにより、課題抽出や施策構築を行うなど、一体的に取り組んでいく。

部内横断的な課題に対する一体的取組み

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H31.3月末時点）>
<p>■最新の経済情勢等を踏まえ、中長期的な視点から、今後、商工労働部として取り組むべき施策の方向性を部内一体となって検討し、今後の施策に活かす。</p> <p>○検討課題（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業のグローバル化に向けた具体的施策 ・グローバル人材の育成に向けた課題整理、施策検討 ・市町村との連携体制による取組みの強化 	<p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p>（定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期視点から、今後の施策の方向性や具体的施策案を検討し、来年度以降の事業や取組に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○部内に設置した方向性検討WGにおいて、松島特別参与や有識者（関西圏の大学教授）、関係団体等から助言をいただきながら、商工労働施策の今後の方向性を検討し、今後3年間の部局運営のビジョンとして「商工労働部経営戦略」を策定。 ○市町村との連携について、今年度から市町村商工担当者メーリングリストを作成し、災害被害情報の収集やセミナー等施策情報の発信を実施。 ○部長をトップに東大阪市・和泉市・豊中市・富田林市と意見交換を実施。また、地域別の課題把握等に向け、10市と担当者レベルでの意見交換等を実施。 ○第4次産業革命関連施策については産業創造課が、中小企業のグローバル化については国際ビジネス・企業誘致課が、国内外の関係機関・団体や部内関係各課と連携しながら情報共有や連携施策を実施。 ○総合商社、商工会・商工会議所、近畿経済産業局、大阪労働局との定期的な情報共有を行い、連携を強化。また、広域連合域内の商工担当部長と、商工施策の府県間連携などに関する意見交換を実施。